

「新しい資本主義」とは何か

名古屋商科大学ビジネススクール教授

原田 泰
はら だ ゆたか

- * 今なぜ「新しい資本主義」なのか
- * 目立つコストを無視した政策
- * 人的投資のインプット主義は誤り
- * 過去の「所得倍増計画」から学ぶべきこと
- * 成果があったアベノミクス
- * 必要なのは高圧経済
- * 「悪い円安論」は誤り
- * 日本はなぜ成長出来ないのか
- * 競争を嫌う体質も要因
- * 成長がすべての出発点



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は名古屋商科大学の原田先生においていただきました。改めてご紹介の必要はないかもしれませんが、1950年のお生まれで、東京大学を卒業後、経済企画庁に入られ、その後、大和総研、早稲田大学、日銀の審議委員を経て、現在、名古屋商科大学で教えておられます。先週も野口先生が日本がいかに凋落しているかというお話をされましたが、問題はどうかという成長を取り戻すことができるかということとして、今日はそういう意味で新しい資本主義という中身もさることながら、日本のこれからについて先生からお話があると思います。

それでは原田先生よろしくお願いたします。（拍手）

今なぜ「新しい資本主義」なのか

原田 ご紹介いただきましたありがとうございます。名古屋商科大学の原田です。

まず、「新しい資本主義とは何か」ということですが、これはもちろん岸田内閣の「新しい資本主義」のことです。これについて説明して、その上で、どうしたらいいのかとお話しいたします。1時10分までお話しして、その後、皆様方からコメントをいただきたいと思えます。

岸田内閣の「新しい資本主義」では、最初は「成長より分配」と言っていました。結局、「まず成長が大事」となったように思います。

1人当たり購買力平価GDPを見ますと、日本は1990年以降停滞しています。台湾は日